

グローバル環境マネジメント

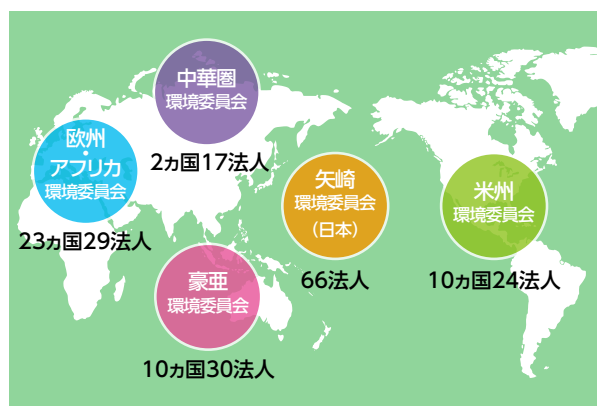
○ 環境経営推進体制

矢崎グループは、世界各地のステークホルダーの皆様からの環境保全に関する期待や要望に確実に対応するため、グローバルで環境マネジメント体制を構築し、運用しています。

毎年5月には「矢崎環境委員会」を開催し、環境経営に関する意志決定機関として、国内外における課題について審議を行います。2016年度は、より専門的な役割を果たす委員会であることを明確化するために、委員長に品質管理室長を任命し、メンバー構成を変更するなど体制を見直しました。

矢崎環境委員会での審議事項は、「グローバル環境会議」で世界各地の環境責任者や環境実務担当者と共に、課題解決に向けて整合しています。さらに世界の各拠点を米州、欧州・アフリカ、中華圏、豪亜および日本の5地域に区分し、各地域の法律や文化・慣習などを考慮した環境管理体制を構築しています。日本国内では、「製品環境委員会」「工場環境委員会」を設けて、各分野の課題や対応方針を検討するとともに、「環境情報委員会」で関連するすべての部署が連携できるよう、全社的な取り組みについて検討しています。

世界各地域における環境管理体制



欧州環境委員会における工場見学の様子

○ グローバルでの課題達成に向けて

「グローバル環境会議」では、各地域間の連携を図りながら、サプライチェーン全体での環境保全活動を推進するために、気候変動の緩和や製品の化学物質管理など、グローバルで対処すべき重要テーマを共有し、その対応を協議しています。2016年度は、IMDSデータに関するシステム統合に向けた活動と、特定フタル酸エステルに関する保証の仕組みについて理解を共有し、活動内容を検討しました。

2016年度の環境委員会開催状況

地域	開催日
米州	2016年8月9日
欧州・アフリカ	2017年5月9日～11日
中華圏	1回目 2016年8月25日～26日
	2回目 2017年2月27日～28日
豪亜	1回目 2016年10月27日
	2回目 2017年5月23日
日本	2017年5月12日
グローバル環境会議	1回目 2016年7月13日
	2回目 2017年1月18日

○ グローバル環境監査

矢崎グループは、国内外の事業所においてISO 14001認証に基づく環境マネジメントシステムを構築し、運用しています。

また、国内の生産拠点、支店・オフィスおよび海外の生産拠点において定期的に環境監査を実施しています。

2016年度は、米州85拠点、欧州・アフリカ25拠点、豪亜7拠点、中華圏6拠点、日本19拠点において実施しました。

環境監査で確認された指摘事項と改善対応は、各環境委員会で情報を共有して、他の拠点での改善活動につなげています。



中国での環境監査の様子

国内における環境マネジメント

○ 生物多様性保全の取り組み

矢崎グループでは、地域の文化や慣習に考慮しながら、生物多様性の保全に向けた取り組みを推進しています。

取り組みの一環として、Y-CITYと裾野製作所（静岡県裾野市）は、裾野市と長泉町（静岡県）が主管する狩野川水系水質保全協議会に参画し、環境保全活動に取り組んでいます。同協議会では、その取り組みのひとつとして、毎年10月にアマゴの放流を行っています。

2016年度は、裾野市役所や地域の高校、保育園、市内の企業などから総勢74名が参加して行われました。矢崎グループからは16名が参加し、地域における生態系の保全活動に貢献しました。



アマゴ放流の様子



アマゴ放流の参加者たち

○ 環境教育

環境保全について、自ら考え、行動できる人づくりをめざして、矢崎グループの教育体系に基づき「全社共通教育」と「環境専門教育」を実施しています。

全社共通教育は、管理職や海外出向予定者などを対象に、環境保全の重要性の理解と、矢崎グループが取

り組んでいる環境保全活動の共有を目的として実施しています。

環境専門教育は、環境にかかわる専門的な業務を遂行できるよう、スキル確保を目的として各種業務の責任者および担当者を対象に実施しています。

環境教育受講者数（2016年度）

区分	対象	受講者（名）
全社共通教育	新入社員環境研修	135
	新任リーダー環境研修	85
	新任責任者環境研修	49
	海外出向前環境研修	105
	小計	374
環境専門教育	化学物質管理担当者研修	7,368
	環境法令管理者・担当者研修	7,126
	ISO14001:2015規格差分習得研修	175
	小計	14,669
合計		15,043



環境教育受講の様子

Topics | 高知県梼原町における地域協働の森づくり 生物多様性の取り組み

矢崎グループは、高知県梼原町および梼原町森林組合と協働で、「木質バイオマス地域循環モデル事業」を2005年から推進しています。

取り組みのひとつとして、梼原町にある九十九曲峠を「矢崎の森」と名づけ整備を行っています。毎年4月29日（昭和の日）には「森林ボランティア協働の森づくり」を実施しています。

2016年度は、矢崎グループから118名が参加しました。地元の林業関係者から木々の種類や特徴を学んだあと、各自のこぎりを手に取り、慣れない手つきながらも間伐作業に汗を流しました。また、

矢崎の森に続くセラピーロードを散策し、環境保全の意識を高めることができました。前日は多くの参加者が現地の農家民宿に宿泊し、梼原町の方たちと親睦を深めました。



参加者の集合写真



間伐の様子